



## 英会話教室「ECC ジュニア」と学童サービスがひとつになった預かりサービス 『ECC ジュニア アフタースクール』 2025年4月開講 教室を運営するフランチャイズパートナーを募集します

総合教育・生涯学習機関の株式会社 ECC(本社:大阪市北区、代表取締役社長:花房雅博)が全国展開する英会話・学習教室「ECC ジュニア」は、2025年4月より新たに、英語学童サービス「ECC ジュニア アフタースクール」を全国で開講いたします。「ECC ジュニア アフタースクール」は、45年以上の指導実績を持つ「ECC ジュニア」教室の質の高い英語教育と児童預かりサービスがセットになった、フランチャイズ型の英語学童サービスです。

あわせて、「ECC ジュニア アフタースクール」の教室運営を行うフランチャイズパートナーを募集します。初期投資を抑え、少人数・小スペースでの開業が可能で、教育サービス業への参入を検討されている法人のお客様にとっても導入しやすいプランとなっています。



### ■サービス提供の背景

近年、共働き世帯の増加などで学童サービスの需要が高まり、小学生の待機児童解消が社会課題となっています。子ども家庭庁が実施した「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の実施状況」調査によると、2024年5月時点で放課後児童クラブの登録児童数は、過去最高の151万9,952人。他方、同クラブを利用できなかった待機児童数は1万7,686人にのぼり、学童サービスの受け皿拡充が急がれています。

また、2020年度に小学校で英語が必修化されたことに伴い、小学校低学年からの英語学習ニーズも増えています。こうした背景から、英語教育と学童サービスを掛け合わせた「英語学童」が注目を集め、英語学童の市場規模は2022年度で150億円とも推計※されています。

ECCが2025年4月より開講する「ECC ジュニア アフタースクール」では、児童預かりサービスとクオリティの高いECCジュニアの英語教育をセットで提供し、子どもが安心して過ごせる居場所づくりという社会的な要請に応えるとともに、英語学習やアクティビティ、生徒同士の共同作業などを通して子どもたちの自己発信力・表現力といったコミュニケーション力を育成することを目指します。

※出典:株式会社矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート 2023」

⇒「ECC ジュニア アフタースクール」開業プランのポイント・開講までの流れは次ページ

【本件に関わる取材などは、下記連絡先までお問い合わせください】

株式会社 ECC 広告広報・マーケティング本部 広告広報部 担当:水野、盛田(受付 月～金 10:00～19:00)

Tel:06-6352-0148 Fax:06-6352-0138 E-mail:kouhou@ecc.co.jp

## ■「ECC ジュニア アフタースクール」 開業プランのポイント

[https://www.eccjr.com/eccjr\\_afterschool/](https://www.eccjr.com/eccjr_afterschool/)

### [ポイント①]パッケージ化されており、初めてでも始めやすい

立ち上げ支援からカリキュラム・ノウハウの提供など、パッケージ化されているため、フランチャイズビジネスを初めて開業する方でも始めやすい事業です。

### [ポイント②]少人数・小スペースで開業が可能

オーナー様お一人でも開業が可能で、6畳程度の小スペースでも始められます。

### [ポイント③]手厚いサポート体制

広告出稿や各種販促ツールなどで集客をサポート。レッスンを担当する講師には、ECC ジュニアが45年以上培ってきた児童英語教育のノウハウを修得いただく講師研修を実施するほか、生徒の学習意欲や満足度を高めるさまざまな行事・イベントをご用意して教室運営をサポートします。

## ■「ECC ジュニア アフタースクール」 開講までの流れ



※教室開講後は、ECC のスタッフが運営・教育両面に関するご相談に応じ、定期研修会や訪問指導を通じて教室経営をサポートします

## ■「ECC ジュニア アフタースクール」の概要

「ECC ジュニア アフタースクール」は、小学1～6年生を対象とし、英会話教室と学童サービスがひとつになったお子さまの預かりサービスです。教室内で「ECC ジュニア」の授業が受けられ、英語学習、宿題サポート、ワークアウトなど、お子さまの成長をしっかりと支えるプログラムが充実。お子さまの入退室情報を通知するコミュニケーションツールを活用し、保護者様に安心していただける仕組みを取り入れています。

### <「ECC ジュニア アフタースクール」 4つの特長>

#### 【1】宿題サポートを通じて自立学習を促進

学校の宿題に対して、主体的に取り組む姿勢や自学自習の習慣の形成を促します。さらに「ECC ジュニア」教室の宿題も、講師がサポートしながら一緒に行うことで、英語基礎力の向上を目指します。

#### 【2】多彩なイベントプログラムをご用意

子どもたちの好奇心・創造性を育む工作や、季節の行事を実施。異文化体験イベントや英語を使ったゲームも用意し、楽しみながら英語に親しむ機会を提供します。

※一部有料イベントも実施

#### 【3】入退室情報が見える安心ツールを採用

コミュニケーションツール「Comiru」※を導入し、お子さまの入退室情報をリアルタイムで通知。一日の取り組み状況や家庭でのサポートに役立つ情報もアプリを通じてお届けし、保護者様にご安心いただける環境を提供します。

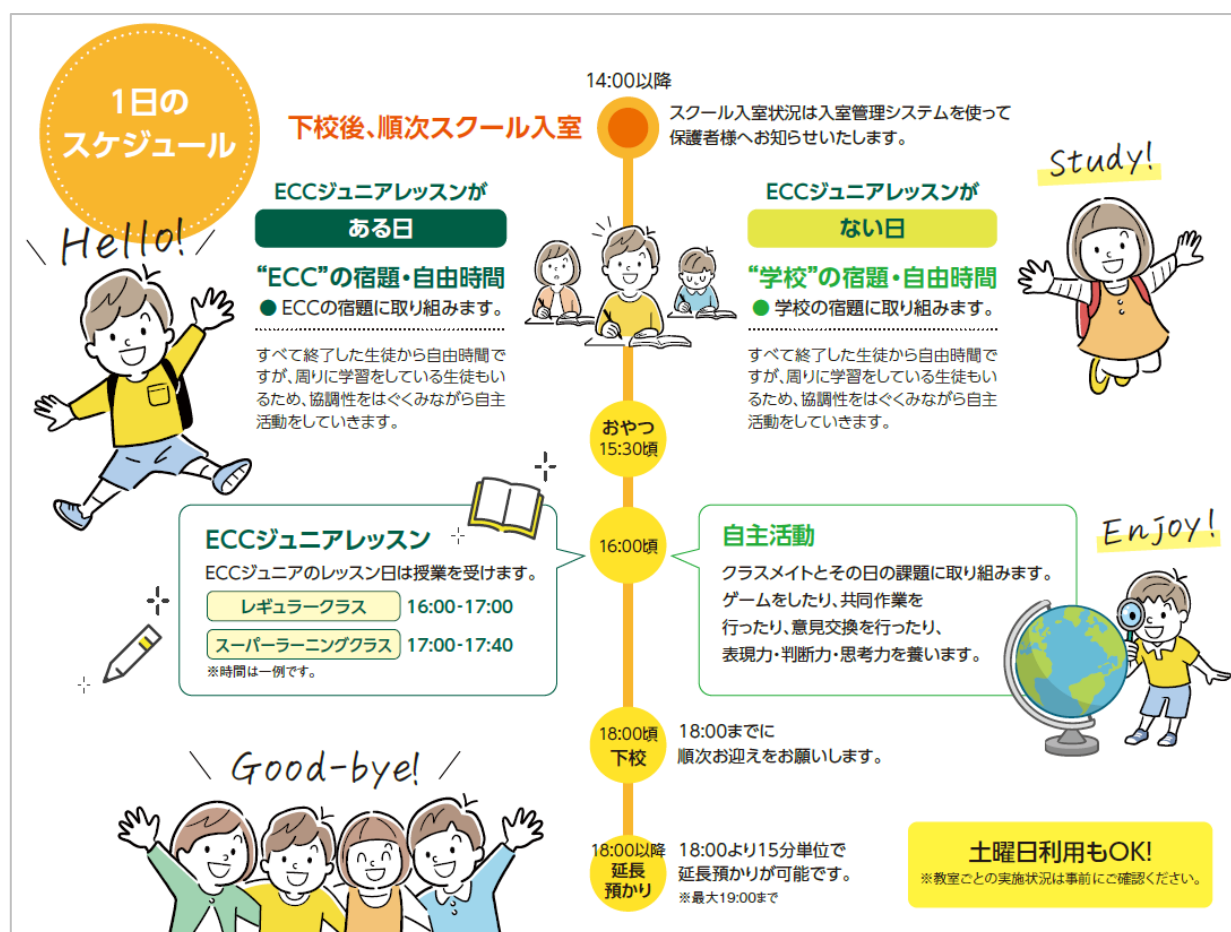
※「Comiru」は、入退室管理や保護者とのコミュニケーション機能などを備えた塾・スクール向けコミュニケーションシステムです

#### 【4】延長預かりサービスで保護者様をサポート

最大 19:00 まで延長預かりが可能です。延長サービスは専用システムから簡単にお申し込みいただけ、忙しい保護者様をサポートします。

## News Release

## 「ECC ジュニア アフタースクール」タイムスケジュールの例



## ■「ECC ジュニア アフタースクール」のご利用料金

月額(平日のご利用)		諸費	入学金	初回登録費	延長料金	土曜日預かり
週 2	26,400円	2,200円/月	5,500円	11,000円	15分 550円	3時間パック 5,500円
週 3	31,900円					
週 4	38,500円					

※金額には消費税(10%)が含まれます

※入学時に別途、教材費とECC 全国児童・中学生英語検定試験受験料が必要です

**■ ECCジュニア** <https://www.eccjr.co.jp/>

ECCジュニアは、「より通いやすい環境で」「本格的な英語教室」を提供することを目指して、1980年に全国展開を始めた英会話・学習教室です。英会話などを教える「ECCジュニア教室」、国語・算数などを教える「学力養成教室 まなビーンズ」、大学入学共通テストなどに対応できる力を養成する「ECCブランチスクール」、英会話や脳トレが楽しめる「ECCシニア」の4つのブランドがあります。子ども英会話教室としては、教室数・生徒数業界No.1※を達成しており、全国約1万教室で約30万名の生徒がECCジュニアで学んでいます。

※ 2023年度 14歳以下を対象とした子ども向け英会話教室 生徒数・教室数(株)矢野経済研究所調べ 2024年7月現在。※本調査結果は、定性的な調査・分析手法による推計である。

- ▼ECCジュニア <https://www.eccjr.co.jp/>
- ▼学力養成教室 まなビーンズ <https://www.eccjr.co.jp/manabeans/>
- ▼ECCブランチスクール <https://www.eccjr.co.jp/course/branch/master.php>
- ▼ECCシニア <https://www.eccjr.co.jp/lp/eccsenior/>

※ECCブランチスクールは上記 URL 以外のコースもございます。詳しくはホームページをご覧ください。

総合教育・生涯学習機関

**■ 株式会社 ECC** <https://www.ecc.co.jp/>

ECC は 1962 年の創業以来、60 年以上にわたり、さまざまな教育活動を展開。幼児からシニア世代までそれぞれの目的を実現する独自のカリキュラムや教材を導入し、確かな成果を生み出しています。語学教育を通じて、時代にあった“真の国際人”としての資質を兼ね備えた人材を育てることを ECC の使命としています。